

進研ゼミ 高校講座

国語 2

合格への 100 題ライブ

体験版

[古文]知識・読解講義

助詞・副詞など／和歌のやりとりに注意して読む

合格への100題 P.56

次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

▼太字部分はあらすじ把握に影響する重要語句。

また、男、いささか人はいはれさわがることありけり。そのこと、いともはかなきそらごとを、**あためける人**の作り出でて、言へるなりけり。さりければ、かう心つきことと、思ひなぐさめがてら、心もやらむと思ひて、津の国の方へぞ行きける。しのびて知る人のもとに、「かうてなむまかる。うきことなど、慰みやする。」と言へりければ、

世のうきを思ひながすの浜ならばわれさへともにゆくべきものとある返し、

うきことよいかで聞かじと**被へ**つつ違へながすの浜ぞいざかして、いにけり。

行きつきて、**長洲**の浜に出でて、網引かせなど、遊びけるに、うらうらと、春なりければ、海いとのかかになりて、夕暮れになるままに、いつの間にか思ひけむ、うかりし京のみ恋しくなりゆきければ、思ひながめつつ、心のうちに言はれける。

はるばると見ゆる海べをながむれば涙ぞ袖の潮と満ちけるとぞながめ暮らしける。

さて、その朝に、さなむありしと文に書きて、京の、かのまかり申しせし人のもとに、言ひたりける。女、

なぎさなる袖まで潮は満ち来とも葦火焼く屋しあれば干ぬらむ

などなむ、言ひおこせたりける。さりければ、久しくも長居せで、帰り来にけり。

〔平中物語〕

合格への100題 P.57

*注

あためける人||敵のような人。ここでは男に冷たくされて憎んでいる女のこと。
津の国||摂津の国。今の大阪府と兵庫県の一部。
知る人||交際している女。 違へながす||災厄を人形に移し替え、それを水に流すこと。そうすることで、罪・穢れなどが除けると考えた。
いざかし||さあ、一緒に行きましょう。 いにけり||男は一人で旅立っていった。
長洲の浜||現在の兵庫県尼崎市の辺り。平安時代の人々がよく「祓え」をしに行った場所。「祓え」は、神に祈って罪・穢れなどを除き去ること。

▼和歌と和歌による状況変化をとらえるワークに取り組もう

ワーク1 「世のうきを……」(4行目)の歌は誰が詠んだ歌か、抜き出して答えよう。

ワーク2 「はるばると……」(10行目)の歌は誰が詠んだ歌か、抜き出して答えよう。

ワーク3 「なきさなる……」(13行目)の歌を受け取った後、「男」はどういう行動をとったか答えよう。

▼入試形式の設問に取り組もう

- 問一 「世のうきを思ひながすの浜ならば」(4行目)を現代語訳しなさい。

【解答欄イメージ】

- 問二

「葦火焼く屋しあれば干ぬらむ」(13行目)で、和歌の詠み手が言いたかったこととして最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア すぐに私が摂津の国へ行きますから、これからは泣くこともないでしょう。
- イ 葦火を焼くことができないように、あなたの涙も乾かないでしょう。
- ウ 都を思って泣いてなどいないで、早く都に帰ってきてください。
- エ あなたを思って流した涙も、今ではすっかり乾いてしまいました。
- オ 摂津の国にもよい女性がいるだろうから、涙などもう乾いているでしょう。